



精神科医 瀬戸 睿

新自由主義の恐怖

新自由主義とは、フリードマンという経済学者が言い出して、サッチャー（英国）、レーガン（米国）、中曽根康弘らが取り入れた政策です。その定義は、市場への国家参入を最小限にする、即ち小さな政府を推進し、民営化、規制緩和などを目指す思想です。

いかに面白いように見えますが、政府を小さくするということは、公務員を減らし、公共事業は民営化する。となると、企業の活動をコントロールしなくなり、経営者が労働者を抑圧する。例えば、小泉政権の労働者派遣法の改悪によって非正規労働者が多くなり、ワーキングプアが生まれたこと。国家が行つべき、生活保障、年金制度、義務教育、各種補助金などのセーフティネットを削減し、自己責任で個人が負担すべきものとしたこと。貧しい人や社会的立場の弱い人は、自分の責任でそうなったのだからしょうがないよ、と国家が助けることを投げ出してしまい、福祉政策の削減、後退が当然化する。一方、企業は好きだけ金儲けをしてよい、億万

長者（1、200億円以上を持つ金持ち）の総資産が約230兆円増え、一方、ネットカフェ難民、非正規労働者、フリーランス、ひとり親世帯が増え貧困化が進んだこと。その結果、格差の拡大です。コロナの拡大も、1990年に850箇所あった保健所が、2019年には472箇所に半減し、感染者のPCR検査も増やせず、感染の拡大をまねいています。

今や日本も世界もこの恐ろしい新自由主義の時代です。安倍政権は今これを進めています。一刻も早く現政権を倒し、新しい社会主義を持つ政権に変えなければなりません。私たちは目覚めましょう。



医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア

越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎048-965-1151